

新年

将来に希望の持てる まちづくりを

議長 安田 敏雄



新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。また、日頃より町議会に対しまして、多大なるご理解とご協力を賜り、心から厚く御礼を申し上げます。

新年を迎え、さまざまな町政課題の解決に向け、町民の皆様の声を十分お聴きして議論を重ね、町民全体の福祉の向上と町政発展のため、全力を傾注していきたいと決意を新たにしております。

さて、去年は、笠松中学校新屋内運動場が完成いたしました。この屋内運動場は、各種設備が設けられており、学校行事はもちろんのこと、社会教育や文化事業などにも利用できる施設となっていることから、町民の方々にも大いに活用されるものと思います。そして、災害時には、地域の方々の避難所としても、誰もが安心して活用できるよう耐震性に十分考慮し整備いたしました。

また、多くの皆様にご利用いただいている「笠松町公共施設巡回町民バス」が老朽化したため、全国からお寄せいただきましたかさまつ応援寄附金(ふるさと納税)を活用し、新しいバス2台を購入いたしました。

今年、新歴史民俗資料館が5月に完成いたします。笠松町はアジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特別区域として認定を受けた区域もあり、町の過去から近未来までの資料展示を行うことが可能となります。この新しい資料館が町の魅力を発信する拠点となるとともに、多くの人々が集まる場所として賑わい、町の活性化につながる契機になることを期待しております。

また、現在整備を進めている木曾川河川敷のサイクリングロードはこの3月に円城寺の蘇岸築堤記念碑公園まで開通いたします。今後は河川環境楽園へ向け計画的に整備を進めてまいります。

これからも、町民の皆様の思いやニーズをしっかりと受け止め、安心・安全な生活を守り、将来にわたり希望を持って暮らすことができるまちづくりを目指し、ご期待にしっかりと応えることができる町議会として、努力してまいりたいと考えています。

どうか、町民の皆様には、尚一層ご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、今年1年間の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたしまして、年頭のごあいさつといたします。

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

平成27年 笠松町議会